

平成 29 年度
第 64 回全国高等学校
定時制通信制軟式野球大会

結果報告



全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟

<http://www.teitsuu-baseball.com>

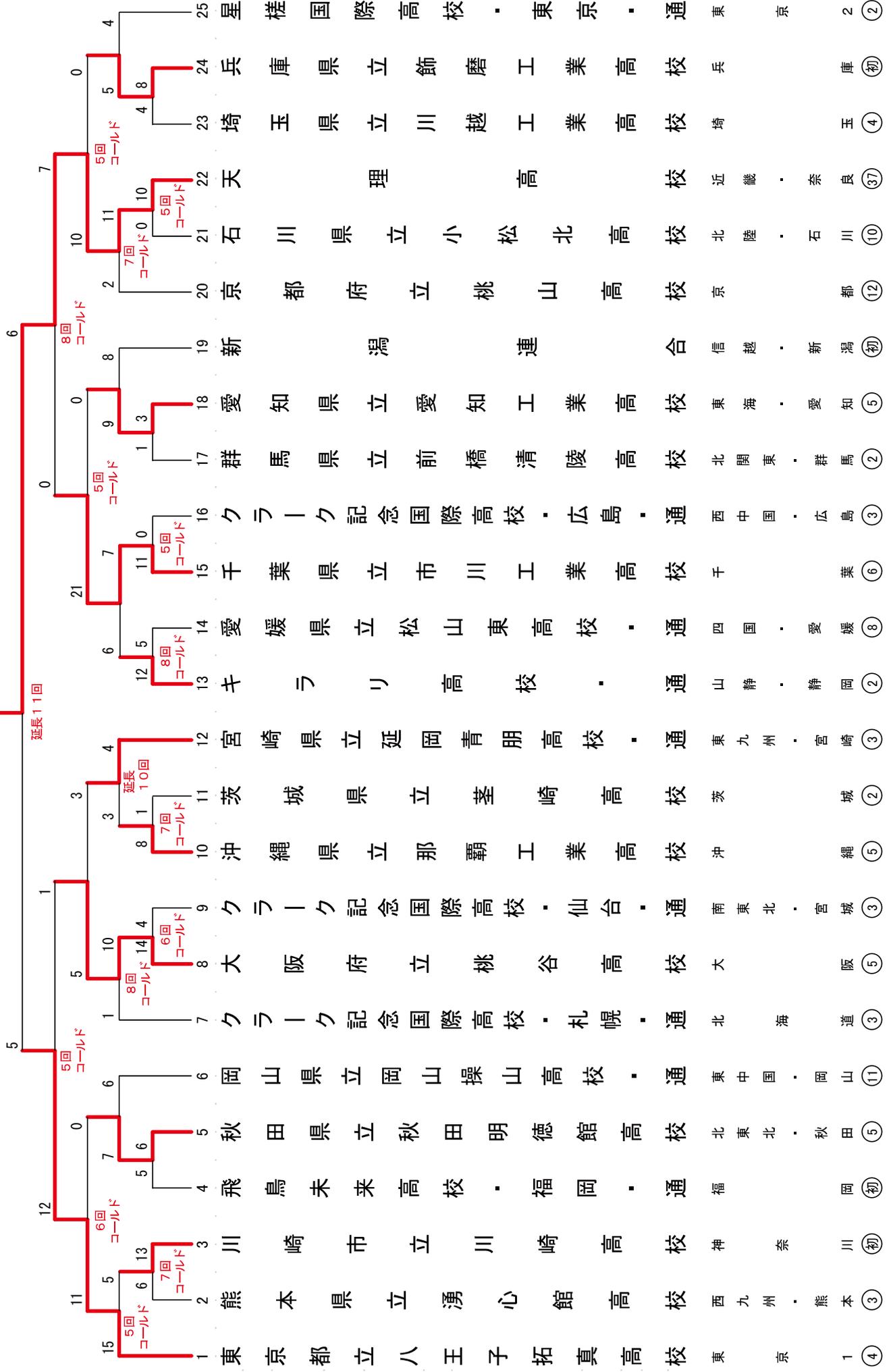
KEIRIN 

The logo for Keirin, featuring the word "KEIRIN" in a bold, italicized, sans-serif font, followed by a stylized blue graphic of two overlapping ovals.

第64回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会結果

期日：平成29年8月16日(水)～20日(日) [雨天順延1日]

優勝 天理高校(11年連続14回目)



■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇り

埼玉県立川越工業高校 対 兵庫県立飾磨工業高校

■球場 明治神宮野球場 第1試合 1回戦

■試合時間 2時間47分 ■備考

■審判 球審:竹本 塁審:吉田 小山 星

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
川越工業	埼玉	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	3	2
飾磨工業	兵庫	0	0	1	3	0	4	0	0	×	8	5	2

川越工業

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二投	吉満尚毅	3	0	0	0	三振		二直	四球		三振		四球					
2	中三	栗林佑哉	5	0	0	0	三振		振逃	遊飛		三振		一邪					
3	捕	安藤航	4	1	0	0	遊ゴ		三振			四球		三振					
4	三二投	後藤裕基	2	1	1	0		中安	三振		四球		死球						
5	遊	塩野仁也	2	1	1	2		死球	死球		右2		捕邪						
6	左	笠原直樹	1	0	0	0		三振	四球										
6		古館大斗	1	0	0	0						三振							
6		井上侑矢	1	0	0	0								三振					
7	投中	安藤和馬	2	1	0	0		三振	左飛		死球		四球						
8	右	軽部宣生	4	0	0	0		遊飛		投ゴ	三振		投ゴ						
9	一	松村孝太	4	0	1	1			一邪	投ゴ	中安				遊ゴ				
合計			29	4	3	3	残塁:8 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
安藤和馬
吉満尚毅
後藤裕基

捕手
安藤航
塩野仁也

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
安藤和馬	3	16	2	2	5	1
吉満尚毅	2 0/3	17	3	0	6	3
後藤裕基	3	13	0	4	6	0

飾磨工業

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	6	7	8	9				
1	遊	西川佳吾	4	0	0	0	捕邪	二飛		三飛	三ゴ	四球			四球					
2	三	安井杏耶	3	2	1	2	四球		投ゴ	中3		四球	三振							
3	投	山田瑠	4	1	0	1	二ゴ		投ゴ	二ゴ		左失		四球						
4	左	多田羅大輔	3	2	1	2	一ゴ		死球	四球		左2		三振						
5	二	小路和輝	3	1	1	1		三振	左3	死球		四球		三振						
6	捕	井上大稀	2	0	0	0		遊飛	四球	四球		投失		死球						
7	中	伊賀神一郎	2	0	0	0		四球	三振	投飛										
7		福田悠平	2	0	0	0						三振		右飛						
8	一	福田幸基	5	1	2	0		投安		右2	三ゴ	三ゴ		捕飛						
9	右中右	塩田涼	1	1	0	0		死球		四球	投直	死球								
9	打	古野童夢	0	0	0	0									四球					
9	走	庄野愛樹	0	0	0	0														
合計			28	8	5	6	残塁:14 併殺:0													
備考																				

■バッテリー

投手
山田瑠
福田悠平

捕手
井上大稀

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
山田瑠	6	27	3	9	7	1
福田悠平	3	12	0	5	3	0

■戦評

天候不良のため初日に開会式だけを行い、1日順延して神宮球場で行われた64回大会の開幕試合は、2年連続4回目出場の埼玉県代表・県立川越工業高校と初出場の兵庫県代表・県立飾磨工業高校の対戦となった。飾磨工業は3回5番小路の左翼越適時三塁打で1点を先制すると、4回2番安井の2点適時三塁打などにより3点を追加する。一方の川越工業は直前の飾磨工業の攻撃をこの試合初めて三者凡退に迎えた6回、二つの四球と相手のミスにより無死二三塁とすると5番塩野の右翼越適時二塁打により2点を返す。さらに1点を追加し、なお二死三塁から9番松村が中堅へ適時安打を放ち4-4の同点に追いつく。引き離したい飾磨工業はその裏、4番多田羅の左翼越適時二塁打により2点を勝ち越すと相手の守備の乱れからさらに2点を追加し4点差とする。守っては7回から救援した2番手福田(悠)が1番から始まる川越工業打線を三者連続三振に抑えると8回9回も得点を与えず8-4で逃げ切り勝利した。一方敗れた川越工業は開幕試合の緊張感からか三投手が計17四死球と制球に苦しみ力を発揮できず、無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇 千葉県立市川工業高校 対 クラーク記念国際高校・広島・通
 ■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 1回戦 ■試合時間 1時間31分 ■備考 5回コールド
 ■審判 球審:鈴木(礼) 塁審:仲田 栗村 田島

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
クラーク広島・通	西中国・広島	0	0	0	0	0					0	1	2
市川工業	千葉	3	7	0	1	X					11	6	1

クラーク広島・通															
	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	遊	中川 裕太	2	0	0	0	一失		二ゴ						
2	二	細見 幹明	2	0	0	0	三振		一飛						
3	三	山口 修人	2	0	0	0	二飛			捕邪					
4	投	荒木 陸	2	0	0	0	二ゴ			三振					
5	捕	山口 弘尊	2	0	0	0		中飛		二ゴ					
6	中	池田 翔太	1	0	0	0		三振			四球				
7	左	土居 裕汰	1	0	1	0		左2			死球				
8	右	下川 信治	2	0	0	0		三振			遊併				
9	一	井藤 竣介	2	0	0	0			三振		投ゴ				
合計			16	0	1	0	残塁:3 併殺:0								
備考															

■バッテリー

投手
荒木 陸

捕手
山口 弘尊

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
荒木 陸	4	27	6	1	7	7

市川工業															
	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	2	3	4	5	6	7	8
1	中	相模 武	2	1	0	0	三振	四球	捕邪						
2	二	金田 皓平	2	2	1	2	四球	中安		一ゴ					
3	捕	菅原 優人	2	2	1	1	四球	右2		二飛					
4	遊	三橋 拓未	3	2	1	2	遊失	遊安		遊失					
5	一	吉田 穂	2	0	0	2	左犠	一ゴ		中飛					
6	三	宮下 雷麻	3	0	1	0	中安	二ゴ			遊飛				
7	右	市原 拓也	1	2	1	0	四球	中2			四球				
8	左	猿田 千弘	1	1	0	0	遊ゴ	死球							
8	打左	三浦 浩隆	0	0	0	0					投犠				
9	投	近藤 真澄	2	1	1	2		四球	中2		二飛				
合計			18	11	6	9	残塁:4 併殺:1								
備考															

■バッテリー

投手
近藤 真澄
宮下 雷麻

捕手
菅原 優人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤 真澄	4	14	1	5	0	0
宮下 雷麻	1	4	0	0	2	0

■戦評

1回戦駒沢球場の第1試合は、5年連続6回目出場の千葉県代表・県立市川工業高校と2年連続3回目出場の西中国地区代表・広島県クラーク記念国際高校・広島・通信制の対戦となった。市川工業は初回一死から連続四球を足がかりに好機を作ると敵失と5番吉田の犠飛により3点を先制する。対するクラーク記念国際・広島は2回二死から7番土居が左中間に二塁打を放つも後続が断たれ無得点に終わる。その裏市川工業は2番金田3番菅原4番三橋の三者連続適時安打など打者11人の猛攻でこの一回一挙7点を奪い10-0と大差をつける。反撃を試みたいクラーク記念国際・広島は5回連続四死球により無死一二塁としたが市川工業の好守に阻まれ得点を奪えず試合終了。4回にも1点を追加した市川工業が5回コールド11-0で勝利した。一方敗れたクラーク記念国際・広島は初回に敵失から無死二塁と先制機を作ったが得点を奪えず試合の主導権を握れなかったのが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇り

群馬県立前橋清陵高校 対 愛知県立愛知工業高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第2試合 1回戦

■試合時間 1時間59分 ■備考

■審判 球審:栗村 塁審:田島 仲田 鈴木(礼)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
愛知工業	東海・愛知	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	8	1
前橋清陵	北関東・群馬	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5	2

愛知工業

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	伊藤 将宏	5	1	2	0	中安	投飛	中3	三邪	二飛								
2	二	松山 直紀	3	0	1	1	四球	右安	三邪	投ゴ									
3	捕	横井 翼	4	0	0	0	三振	捕邪	捕飛										
4	遊	吉井 巧	4	1	1	1	投ゴ		左2	捕邪	三邪								
5	中	伊藤 涼太	4	0	1	1		一失	右3	中飛					三振				
6	三	安藤 寛大	4	0	1	0		遊飛	遊飛	三邪				中安					
7	一	三河 龍雅	4	0	0	0		捕邪	三振				中飛	三飛					
8	左	吉井 涼太	4	0	1	0			三ゴ	捕邪			左安	一失					
9	右	吉田 光汰	3	1	1	0			中安	投ゴ			三振	四球					
合計			35	3	8	3	残塁:7 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
伊藤 将宏

捕手
横井 翼

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
伊藤 将宏	9	36	5	10	5	1

前橋清陵

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	捕	若林 祐輔	4	0	0	0	二飛	一邪			三飛	一邪							
2	遊	谷 征紀	4	1	1	0	三邪		二ゴ	一安		一ゴ							
3	投	藤田 真也	3	0	1	0	中安		投ゴ	死球		二ゴ							
4	一	萩原 海斗	2	0	1	1	三振		死球	左安		四球							
5	三	木下 龍太郎	4	0	0	0		三飛	捕邪	三振		三振							
6	中	卯野 元気	3	0	1	0		投ゴ		遊ゴ		遊安		四球					
7	二	高橋 和幹	4	0	1	0		三振		一ゴ		左安		三ゴ					
8	左	小川 健太	3	0	0	0			三振	三ゴ		三振							
8	打	吉澤 直樹	0	0	0	0												死球	
9	右	大和田 龍斗	4	0	0	0			三振			三振	三振	三振					
合計			31	1	5	1	残塁:8 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
藤田 真也

捕手
若林 祐輔

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
藤田 真也	9	37	8	4	2	3

■戦評

1回戦駒沢球場の第2試合は、2年連続2回目出場の北関東地区代表・群馬県立前橋清陵高校と2年連続5回目出場の東海地区代表・愛知県立愛知工業高校の対戦となった。愛知工業は初回先頭の伊藤(将)が安打で出塁すると四球と暴投により三塁に進み内野ゴロの間に生還し1点を先制する。3回に適時安打で1点を追加した愛知工業は4回無死二塁から5番伊藤(涼)が右翼越適時三塁打を打ち3-0とする。一気に試合を決めたい愛知工業であったが、ここは前橋清陵先発藤田が踏ん張り後続を断つと、5回も一死三塁のピンチを招くが得点を許さず味方の反撃を待つ。藤田の粘投に応えたい前橋清陵打線は6回内野安打と死球によりこの試合初めて得点圏に走者を進めると4番萩原が適時安打を打ち1点を返す。続く7回6番卯野7番高橋の連続安打により無死一三塁と同点の好機を作ったが、愛知工業先発伊藤(将)の切れのある変化球を打ちあぐね点差を縮めることができない。試合はこのまま愛知工業が3-1で逃げ切り勝利した。一方敗れた前橋清陵は打線が10三振と本来の力を発揮できず無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇り

キラリ高校・通 対 愛媛県立松山東高校・通

■球場 府中市民球場 第1試合 1回戦

■試合時間 2時間25分 ■備考 8回コールド

■審判 球審:安田 塁審:大和 森井 河村

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
松山東・通	四国・愛媛	0	0	0	0	3	1	1	0								5	9	6
キラリ・通	山静・静岡	1	0	3	2	0	0	4	2x								12	15	3

松山東・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	捕	越智 颯	5	0	1	1	三ゴ		三ゴ	三振	遊安		遊直						
2	遊	森田 竜矢	3	0	1	0	三振		左安	投擲	三振								
3	投	大野 天良	3	1	1	0	中安		三振	四球		三振							
4	中	上田 正人	3	2	1	0	遊ゴ		遊失	四球		遊安							
5	一	越智 弘希	4	0	1	2		三振	三ゴ	左2		三振							
6	二	川田 甲二郎	4	0	2	1		右安		二ゴ	三振		左安						
7	三	門田 良明	4	0	1	0		左2		三振		三振	中飛						
8	右	金光 龍汰	2	0	0	0		三振		投ゴ									
8	右	宇高 大那	2	0	0	0							投ゴ		三振				
9	左	池田 大志	2	2	1	0		投ゴ			中安	死球		四球					
合計			32	5	9	4	残塁:8		併殺:0										
備考																			

■バッテリー

投手
大野 天良

捕手
越智 颯

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
大野 天良	7 2/3	46	15	12	4	8

キラリ・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二	原野 拓巳	6	1	1	1	遊失		一ゴ	捕ゴ	遊ゴ		三振	二安					
2	遊	絹村 希望	5	3	3	2	三振		三安	左2		遊ゴ	中本						
3	三	絹村 拓海	4	2	3	2	右3		右安	右失		死球	右安						
4	捕	油井 奎弥	5	1	1	0	左飛		左安	三振		三振	投飛						
5	投	服部 純尚	4	0	1	0	死球		一失	中失		遊ゴ		中安					
6	一	松本 侑禪	4	2	1	0	三振		二安	三振			四球	遊ゴ					
7	左	山本 海斗	4	1	1	0		三振	四球		一ゴ		一邪	左安					
8	右	岸端 秀晴	5	1	1	1		三振	三振		三振		右2	三振					
9	中	原田 温和	5	1	3	2		一邪	三振		三安		中3	左安					
合計			42	12	15	8	残塁:11		併殺:1										
備考																			

■バッテリー

投手
服部 純尚

捕手
油井 奎弥

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
服部 純尚	8	37	9	12	4	5

■戦評

1回戦府中球場の第1試合は、2連続2回目出場の山静地区代表・静岡県キラリ高校・通信制と14年ぶり8回目出場の四国地区代表・愛媛県立松山東高校・通信制の対戦となった。初回に1点を先制したキラリは3回、2番絹村(希)からの三連打に相手のミスが重なり3点を追加し試合の主導権を握ると、4回に相手のミスを逃さず2点を加え6-0とする。追いかける松山東は5回5番越智(弘)の2点適時二塁打などで3点を奪い反撃を開始する。続く6回1番越智(颯)の適時内野安打で1点を返すと7回二死二塁から6番川田が適時安打を放ち6-5と1点差に迫る。引き離したいキラリはその裏8番岸端9番原田2番絹村(希)の3人が長打を放ち4点を挙げると8回に2本の適時安打で2点を追加し試合を決めた。先発全員安打となる15安打で12得点を奪ったキラリが8回コールド12-5で勝利した。一方敗れた松山東は先発大野が12奪三振の力投を見せたが失策が度々失点に絡んでしまい無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇り
 ■球場 府中市民球場 第2試合 1回戦
 ■審判 球審:松山 塁審:清水 安田 大和

大阪府立桃谷高校 対 クラーク記念国際高校・仙台・通
 ■試合時間 1時間46分 ■備考 6回コールド

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
クラーク仙台・通	南東北・宮城	0	1	0	3	0	0				4	3	3
桃谷	大阪	4	3	0	4	0	3x				14	12	2

クラーク仙台・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	三	船津 熙人	3	0	1	1	三振		三振	中安								
2	中	小林 丈留	3	0	0	0	三振		三振	投ゴ								
3	投	幾島 健太	1	1	0	0	死球			死球	三失							
4	遊	塩入 伊吹	3	1	1	0	二ゴ			遊安	三ゴ							
5	二	佐藤 大貴	3	0	0	0		三振		三ゴ		三振						
6	捕	三條 烈	2	2	1	0		二安		四球	一直							
7	左	山田 真由	2	0	0	1		三振		死球	三振							
8	一	小畑 優人	2	0	0	0		三振		三振								
9	右	小原 里梨	1	0	0	1			三振	四球								
合計			20	4	3	3	残塁:3			併殺:0								
備考																		

■バッテリー

投手
幾島 健太

捕手
三條 烈

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
幾島 健太	5 1/3	34	12	8	4	7

桃谷

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	左	築瀬 陸風	3	2	2	0	四球	一ゴ		遊安	右安							
2	一	土井 猛	4	3	3	1	中2	左安		左2	捕失							
3	捕	山田 駿汰	4	2	2	5	三振	中3		右本	投飛							
4	投	金 珍秀	4	3	3	1	左安	三振		中安		中安						
5	遊	藤井 豪	2	2	1	0	中安	四球		遊ゴ	四球							
6	中	乾 仁斗	4	1	0	0	振逃	三振		三振		一失						
7	二	山川 翔生	4	0	1	1	左安		三振	三振	三ゴ							
8	三	福辻 功児	1	0	0	0	三振											
8	打	栗栖 卓也	2	0	0	0			三ゴ		三ゴ							
9	右	前田 哉瑠	2	1	0	0		死球	三振		三ゴ							
合計			30	14	12	8	残塁:4			併殺:0								
備考																		

■バッテリー

投手
金 珍秀
山川 翔生
山田 駿汰

捕手
山田 駿汰
山川 翔生

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
金 珍秀	4	19	3	9	5	3
山川 翔生	1	3	0	0	0	0
山田 駿汰	1	3	0	2	0	0

■戦評

1回戦府中球場の第2試合は、4年連続5回目出場の大阪府代表・府立桃谷高校と3年連続3回目出場の南東北地区代表・宮城県クラーク記念国際高校・仙台・通信制の対戦となった。試合は初回から桃谷打線が猛攻を見せ、2番土井の適時二塁打で先制すると4番金7番山川の適時安打などで計4点を奪う。さらに2回3番山田の2点適時三塁打などで3点を追加し試合を優位に進める。2回に相手のミスを逃さず1点を返したクラーク記念国際・仙台は4回7番山田9番小原の押出四死球と1番舟津の適時安打により3点を奪い7-4と追いつける。引き離したい桃谷はその裏走者二人を置いて3番山田がランニング本塁打を放つなど4点を追加すると6回に相手のミスにより3点を加え試合を決めた。5回6回と継投によりクラーク記念国際・仙台の反撃を許さなかった桃谷が6回コールド14-4で勝利した。一方敗れたクラーク記念国際・仙台は打線が桃谷投手陣の前に散発3安打11三振に抑えられ、両チームの攻撃力の差が明暗を分ける結果となり無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇

沖縄県立那覇工業高校 対 茨城県立茎崎高校

■球場 府中市民球場 第3試合 1回戦

■試合時間 1時間41分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:森井 塁審:松山 河村 清水

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
那覇工業	沖縄	2	0	0	0	4	2	0								8	7	4
茎崎	茨城	0	0	0	0	0	0	1								1	3	5

那覇工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	左		大城 翔平	4	2	1	0	遊失		三振		右安	一飛							
2	二		宮城 和貴	4	2	1	1	三振		三飛		二安	遊失							
3	捕		新里 奨平	4	1	2	1	三振		二安		左安	三振							
4	投		中村 丈	4	0	1	2	中3		三振		三振		一飛						
5	中		嘉納 翔	4	0	0	0	三振			投ゴ	三振		一ゴ						
6	一		翁長 常次	3	0	0	0	二飛			三振	三振		死球						
7	三		宇地原 翔希	4	1	1	0		二飛		振逃		中3	一飛						
8	遊		小濱 裕二郎	3	1	1	1		捕邪		三振		右3							
9	右		上原 玲音	2	1	0	0		三振				四球	三振						
9		右	大湾 璃樹	0	0	0	0													
合計				32	8	7	5	残塁:5 併殺:0												
				備考																

■バッテリー

投手
中村 丈

捕手
新里 奨平

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中村 丈	7	27	3	15	2	0

茎崎		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二	捕	張 替 瑞 生	2	0	1	0	左2		三振			四球							
2	左		滝 涼 介	3	0	0	0	三振			三振		三振							
3	投	三	関 口 大 輝	3	0	0	0	三振			三振		一ゴ							
4	一		平 田 陸	2	1	0	0	三振			三振			四球						
5	捕	投	小 林 佑 企	3	0	0	0		三振			三飛		三振						
6	中	右	平 川 龍 登	3	0	0	0		三振			左飛		三失						
7	右		岡 澤 大 地	1	0	0	0		三振											
7	打	二	中 村 廉	2	0	2	1					中安		右安						
8	遊	中	佐 久 間 恒 希	3	0	0	0			三振		三振		投ゴ						
9	三	遊	藤 田 昇 悟	3	0	0	0			二ゴ			投ゴ	三振						
合計				25	1	3	1	残塁:5 併殺:0												
				備考																

■バッテリー

投手
関 口 大 輝
小 林 佑 企

捕手
小 林 佑 企
張 替 瑞 生

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
関 口 大 輝	6	30	7	13	1	3
小 林 佑 企	1	4	0	0	1	0

■戦評

1回戦府中球場の第3試合は、2年ぶり5日目の出場沖縄県代表・県立那覇工業高校と2年連続2回目出場の茨城県代表・県立茎崎高校の対戦となった。先攻の那覇工業は初回一死二三塁から4番中村が適時三塁打を打ち2点を先制する。対する茎崎はその裏、先頭の張替が二塁打で出塁し牽制悪送球により三塁まで進むが後続が三者連続三振に倒れ無得点に終わる。再び試合が動いたのは5回、那覇工業は2番宮城3番新里の連続適時安打などで4点を追加する。2回以降1人の走者も出せずにいた茎崎はその裏、二死から代打中村が中堅へ安打を打ち相手のミスの中に二塁まで進むも後続が断たれたため得点を奪えない。続く6回那覇工業は7番宇治原8番小濱の連続三塁打などで2点を奪い8-0とする。追い込まれた茎崎は7回中村の適時安打により1点を返すが反撃もここまで。先発中村が七者連続を含む15奪三振の快投を見せた那覇工業が7回コールド8-1で勝利した。一方敗れた茎崎は途中出場の主将中村が2打数2安打1打点とチームを引っ張ったが総合力で上回る那覇工業の前に無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇り時々雨

熊本県立湧心館高校 対 川崎市立川崎高校

■球場 稲城中央公園野球場 第1試合 1回戦

■試合時間 2時間36分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:谷川 塁審:須田 鈴木(優) 山田

(中断6分)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
湧心館	西九州・熊本	4	0	2	0	0	0	0									6	9	7
川崎	神奈川	3	0	2	0	4	1	3x									13	7	3

湧心館

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	三	福永 侑也	4	0	1	1	遊ゴ	投飛	右安		遊飛								
2	右	福田 太一	3	1	0	0	四球	振逃	遊ゴ		三振								
3	遊	宮尾 未沙輝	4	1	1	0	左安	遊ゴ		三ゴ		三失							
4	捕	山之内 龍真	2	1	1	1	左安		四球	死球		遊併							
5	投	田上 翼	4	2	3	1	中2		三ゴ	右安		中安							
6	左	松田 カイジ	4	1	1	0	遊失		中安	三ゴ		三振							
7	一	岩本 大志郎	4	0	0	0	三振		三失	遊ゴ				三振					
8	二	奥野 有美	4	0	1	1	三振		遊安		投飛		中飛						
9	中	木村 里玖	3	0	1	0		四球	三振		右安		三ゴ						
合計			32	6	9	4	残塁:9 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
田上 翼
宮尾 未沙輝
田上 翼

捕手
山之内 龍真
田上 翼
山之内 龍真

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
田上 翼	5 0/3	28	6	12	5	4
宮尾 未沙輝	1 1/3	9	0	2	4	1
田上 翼	0/3	1	1	0	0	0

川崎

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	右	穴久保 透輝	2	3	0	0	四球		三振	二ゴ		四球	四球						
2	二	深田 凜	5	2	1	1	二失		三振		遊失	三振	右安						
3	遊	丹代 晴大	2	3	1	1	左2		死球		死球	右失							
4	三	松本 圭斗	4	1	1	1	三振		三安		三振	一飛							
5	捕	久保 太一	2	1	1	2	三振		四球		左安	四球							
6	一	斉藤 海斗	4	0	1	1	三振		右安		三振	三振							
7	中	名渡山 涼太	4	1	2	1		中安	三振		中2		投飛						
8	投	原田 拓海	3	1	0	0		三振		三振	投失		四球						
9	左	大澤 秀太	3	0	0	0		三振		遊飛	三振								
9	打	樋田 葵	0	1	0	0							四球						
合計			29	13	7	7	残塁:6 併殺:2												
備考																			

■バッテリー

投手
原田 拓海

捕手
久保 太一

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
原田 拓海	7	36	9	7	4	2

■戦評

1回戦稲城中央公園野球場の第1試合は、7年ぶり3回目出場の西九州地区代表・熊本県立湧心館高校と初出場の神奈川県代表・川崎市立川崎高校の対戦となった。試合は両チームが初回から点を取り合う展開となった。先攻の湧心館は4番山之内の適時安打と5番田上の適時二塁打などで4点を先制するが、その裏川崎も3番丹代の適時二塁打などで3点を返す。3回湧心館は8番奥野1番福永が、一方川崎は4番松本6番斉藤がそれぞれ適時安打を打ち2点ずつを取り合い6-5で迎えた5回に川崎が試合の流れを掴む。一死二三塁から5番久保の2点適時安打で逆転に成功すると7番名渡山の適時二塁打などもありこの回計4点を奪う。6回に敵失により1点を追加し勢いに乗る川崎は7回、四球と相手のミスにより2点を奪うとこの回途中から再びマウンドに戻った湧心館の主戦田上から2番深田が右翼へ適時安打を打ち試合を決めた。川崎は先発原田が4回以降降走者を出しながらも湧心館打線に追加点を与えず7回コールド13-6で勝利した。一方敗れた湧心館は7失策と守りのミスが目立ち、無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月17日(木) ■天候 曇り

飛鳥未来高校・福岡・通 対 秋田県立秋田明徳館高校

■球場 稲城中央公園野球場 第2試合 1回戦

■試合時間 2時間07分 ■備考

■審判 球審:山田 塁審:鈴木(優) 須田 谷川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
飛鳥未来福岡・通	福岡	0	1	1	0	2	1	0	0	0							5	8	6
秋田明徳館	北東北・秋田	1	0	0	0	1	1	2	1	×							6	6	4

飛鳥未来福岡・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	井内 吾郎	5	1	2	1	三振		二飛	遊安	中安			一邪					
2	二	福本 武人	4	1	1	0	三振		二安	三飛	死球				三振				
3	捕	諸石 翔大	5	1	2	2	投ゴ		中3	中3	遊ゴ								
4	中	上垣 陸翔	5	0	1	1		三振	一飛	右3			捕飛		右飛				
5	投	藤江 幸哉	3	1	0	0		一失	四球	三ゴ			三振						
6	三	江崎 竜樹	4	0	0	0		三振	三振	投ゴ			三振						
7	左	松坂 竜成	3	1	1	0		四球		中飛		左安		三ゴ					
8	一	佐藤 瞭多	3	0	1	0		四球		三ゴ		三振		中安					
9	右	宮村 光太	4	0	0	0		三振		三振		三振		一邪					
合計			36	5	8	4	残塁:8 併殺:1												
備考																			

■バッテリー

投手
藤江 幸哉

捕手
諸石 翔大

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
藤江 幸哉	8	36	6	11	7	1

秋田明徳館

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	阿部 和行	4	1	1	1	中安		遊ゴ	遊飛			二選						
2	一	一関 耕太	2	0	0	0	四球		四球			三振	三振						
2		高橋 哲	0	0	0	0													
3	捕	安部 泰地	4	1	1	0	三振		二飛			三安	捕邪						
4	遊	畠山 湊	4	1	1	0	三振		中飛		三振		中安						
5	三	千葉 翔太	2	0	1	1	四球		一飛		四球		右安						
6	左	青木 真輝	4	0	0	0	一ゴ			三振		投ゴ		捕邪					
7	中	石川 辰也	2	2	1	0		三振			四球		遊安	死球					
8	二	後藤 凌太	3	0	0	0		一邪			三振		三振	四球					
9	右	佐々木 快真	1	0	0	0		三振											
9	打	泉 凌大	3	1	1	0					右飛		右安	三振					
合計			29	6	6	2	残塁:6 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
阿部 和行

捕手
安部 泰地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
阿部 和行	9	36	8	13	4	3

■戦評

1回戦稲城中央公園野球場の第2試合は、初出場の福岡県代表・飛鳥未来高校・福岡・通信制と2年連続5回目出場の北東北地区代表・秋田県立秋田明徳館高校の対戦となった。両チーム三盗を狙った走者が相手のミスの中に生還し1点ずつを取り合い1-1で迎えた3回、飛鳥未来・福岡は3番諸石の適時三塁打で1点を勝ち越す。さらに5回3番諸石4番上垣の連続適時三塁打により2点を追加する。秋田明徳館もその裏相手のミスにより1点を返すと6回に両チーム1点ずつを取り合い5-3で試合は終盤へ。秋田明徳館は7回2本の安打などで一死二三塁の好機を作ると1番阿部の打球が相手のミスを誘い2人が生還し同点に追いつく。続く8回先頭の4番畠山が安打で出塁すかさず二盗三盗を決める。ここで5番千葉が右翼へ適時安打を放ち逆転に成功する。9回秋田明徳館先発の主戦阿部は飛鳥未来・福岡打線を三者凡退に抑え試合終了。秋田明徳館が6-5で勝利した。一方敗れた飛鳥未来・福岡は3回5回6回に得点をあげた後なお得点圏に走者を置きながら追加点を奪えなかったのが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 晴れ

愛知県立愛知工業高校 対 新潟連合

■球場 江戸川区球場 第1試合 2回戦

■試合時間 2時間35分 ■備考

■審判 球審:大和 塁審:谷川 須田 鈴木(礼)

(中断5分)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
愛知工業	東海・愛知	1	0	2	0	2	2	0	2	0	9	5	2
新潟連合	信越・新潟	0	0	4	2	1	0	1	0	0	8	14	8

愛知工業

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	捕	伊藤 将宏	2	4	1	0	三失		左3	四球	四球			死球					
2	二	松山 直紀	5	1	0	2	遊ゴ		守妨	一失	三振			投選					
3	中	横井 翼	5	1	1	0	一失		遊失	三振			遊安	一ゴ					
4	遊	吉井 巧	5	0	0	0	三振		三ゴ	投ゴ			三ゴ	一飛					
5	投	伊藤 涼太	5	0	1	0		遊安	遊失	三振			投ゴ	遊飛					
6	三	安藤 寛大	3	1	1	0		投犠	三ゴ			左2	三ゴ	四球					
7	一	三河 龍雅	4	0	0	0		二ゴ		一ゴ		三犠	三振	一ゴ					
8	左	吉井 涼太	3	1	1	1		四球		右飛		中3	投ゴ						
9	右	吉田 光汰	3	1	0	0		三振		三振		三振	四球						
合計			34	9	5	3	残塁:7 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
伊藤 涼太
吉井 巧
伊藤 将宏
伊藤 涼太

捕手
伊藤 将宏
横井 翼

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
伊藤 涼太	3	14	2	6	2	0
吉井 巧	0 2/3	7	4	1	1	2
伊藤 将宏	1 1/3	7	2	1	1	1
伊藤 涼太	4	18	6	5	0	1

新潟連合

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	阿部 新太郎	6	1	1	1	捕飛		遊失	三振	三振		左安		三振				
2	中	壘 凌二	5	0	1	1	三振		三ゴ	左安		三振	一飛						
3	右	上野 一輝	3	1	1	1	四球		四球	左安		三振		一邪					
4	投	高橋 昂大	5	1	2	3	三振		左本	二飛		遊失		中安					
5	捕	新井 海士音	4	1	0	0		三振	投ゴ		死球	三飛		一邪					
6	二	星田 舜哉	4	1	3	0		三振		右2	中2		中安						
6	打	瀧澤 一真	1	0	1	0								左安					
7	一	丸山 宙夢	4	1	0	0		三振		四球	三ゴ		三振	三振					
8	左	北村 大智	5	1	3	1			三振	遊ゴ	中安		二安		遊安				
9	三	佐藤 翔太	5	1	2	0			左2	中安	一邪		三ゴ	中飛					
合計			42	8	14	7	残塁:11 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
高橋 昂大

捕手
新井 海士音

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
高橋 昂大	9	43	5	8	6	2

■戦評

2回戦江戸川球場の第1試合は、1回戦を主戦伊藤(将)の好投により競り勝った愛知県立愛知工業高校と初出場の信越地区代表・新潟県新潟連合の対戦となった。愛知工業は3回までに相手のミス逃さず3点を奪う。対する新潟連合は3回裏1点を返しなお二死一三塁の好機で4番高橋が左翼スタンドに入る本塁打を打ち逆転に成功する。愛知工業2点、新潟連合3点を追加し7-5で迎えた6回、愛知工業は一死三塁から8番吉井(涼)が適時三塁打を打ち中継ぎが乱れる間に自身も生還し同点に追いつく。引き離したい新潟連合は7回1番阿部の適時安打で1点を勝ち越すが、粘る愛知工業も8回二死から四球と盗塁に相手のミスもあり走者を三塁まで進めるとボークにより同点に追いつく。さらに死球と二つの盗塁で再び二死三塁とすると2番松山の打球は投手前に高く弾む。これが野選となり決勝点を挙げた愛知工業が9-8で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた新潟連合は相手を大きく上回る14安打を放っていただけに、8失策と守備が乱れ自分たちのミスから失点を重ねてしまったことが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 晴れ

京都府立桃山高校 対 天理高校

■球場 江戸川区球場 第2試合 2回戦

■試合時間 1時間46分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:須田 塁審:鈴木(礼) 竹本 鈴木(優)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
天理	近畿・奈良	3	0	0	5	0	0	3								11	14	4
桃山	京都	0	0	0	0	2	0	0								2	4	8

天理																			
	ポジション			氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	4	5	6	7	8	9	
1	中	左		窪田 正喜	3	3	1	2	四球	中飛		四球		左飛		左3			
2	遊			片山 幸輔	5	2	3	1	右安	遊安		右安		中飛		遊直			
3	三	一	投	岡田 民生	5	2	2	3	右安	左飛		左2		中飛	遊飛				
4	左	右	投	岩城 潤	4	0	3	0	左安		中飛	右安			左安				
5	一			浅見 紫歌	3	0	1	0	三振		左安	三ゴ							
5			三	邊田 三嗣	1	0	1	0							遊安				
6	捕			原田 成人	4	0	0	0	捕飛		一飛	三失			投飛				
7	右			平野 雄大	2	0	0	0	二飛		一邪	投犠							
7		中		大江 治義	1	1	1	0								左安			
8	投			堀部 陸	3	1	1	0		左飛		左2	左飛						
8			右	浅井 幸喜	1	0	0	0								捕邪			
8			一	佐藤 良太郎	0	0	0	0											
9	二			畦越 純	3	2	1	0		中安		犠失		三邪	一失				
合計					35	11	14	6	残塁:7 併殺:0										
備考																			

■バッテリー

投手
堀部 陸
岩城 潤
岡田 民生

捕手
原田 成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
堀部 陸	4	14	0	3	2	0
岩城 潤	2	10	3	2	1	0
岡田 民生	1	6	1	1	2	0

桃山																			
	ポジション			氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	投			古野 壮基	3	0	0	0	一邪		中飛		二ゴ		四球				
2	遊			杉下 翔希	3	0	0	0	三振		一飛		三振		死球				
3	中			田原 天馬	4	0	0	0	遊飛			左飛		遊ゴ	投飛				
4	捕			平松 智貴	3	0	1	0		三ゴ		三ゴ		中安					
5	一			山本 瑞輝	1	0	0	0		四球		三振		四球					
5				三浦 憂耶	3	0	0	0		遊ゴ				一邪	三振				
6	右			岩田 颯	2	1	0	0		死球				三失	三失				
8	左			大下 圭祐	3	1	1	1		三振				右安	三振				
9	三			山口 龍真	3	0	2	0			投飛		左安	遊安					
合計					25	2	4	1	残塁:7 併殺:1										
備考																			

■バッテリー

投手
古野 壮基

捕手
平松 智貴

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
古野 壮基	7	39	14	1	2	6

■戦評

2回戦江戸川球場の第2試合は、3年ぶり12回目出場の京都府代表・府立桃山高校と連覇へ向け盤石のスタートを見せた天理高校の対戦となった。先攻の天理は初回先頭打者が四球で出塁するとこの回ヒットエンドランを2度成功させるなど足を絡めた攻撃を仕掛け3点を先制する。2回3回と得点圏に走者を進めながら追加点を奪えずにいた天理は4回先頭8番堀部の二塁打を皮切りに2番片山3番岡田4番岩城の三連打など打者一巡の猛攻で5点を追加し8-0とする。反撃を試みたい桃山は5回、この回から救援した天理2番手岩城を攻め8番大下9番山口の連打に相手の守備の乱れもあり2点を返す。5回6回無得点に終わった天理は7回一死二三塁から1番窪田が左翼越えの打球を放つと自らも生還し(記録は三塁打と失策)3点を奪い大差をつける。追い込まれた桃山はその裏二死ながら満塁と好機を作ったが無得点に終わり試合終了。7回コールド11-2で天理が勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた桃山は8失策と守りのミスが目立ち攻撃に良い流れを呼び込めず無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 曇り 兵庫県立飾磨工業高校 対 星槎国際高校・東京・通
 ■球場 江戸川区球場 第3試合 2回戦 ■試合時間 2時間44分 ■備考
 ■審判 球審:鈴木(優) 塁審:竹本 谷川 大和

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
星槎国際東京・通	東京2	0	0	0	1	0	0	3	0	0	4	8	2
飾磨工業	兵庫	1	0	0	0	1	2	0	0	1x	5	4	1

星槎国際東京・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中	大 沢 俊 輔	5	1	1	0	三振		三ゴ		三ゴ		右安	三ゴ					
2	捕	尾 形 太 陽	5	0	1	0	左安		三ゴ		三ゴ		三ゴ	三振					
3	遊 投 遊	宮 田 大 輔	3	1	1	0	四球		四球		二飛		遊安		三ゴ				
4	三 遊 投	秦 啓一郎	4	0	2	1	三振			四球		三飛	中安		左2				
5	投 三	谷 合 侑 也	3	1	0	0	三振			死球		四球	三振		二ゴ				
6	一	種 藤 颯 太	4	0	2	2		四球		遊ゴ		遊安	二安		二ゴ				
7	二	徳 永 怜	4	0	1	1		投ゴ		中安		投飛	三振						
8	左	海 野 聡 汰	3	0	0	0		三振		死球		三振		三振					
9	右	園 田 龍 成	2	1	0	0		一ゴ		右飛			四球	四球					
合計			33	4	8	4	残塁:11 併殺:1												
備考																			

■バッテリー

投手
谷 合 侑 也
宮 田 大 輔
秦 啓一郎

捕手
尾 形 太 陽

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
谷 合 侑 也	5	23	3	6	5	2
宮 田 大 輔	0 1/3	5	0	1	4	1
秦 啓一郎	1 2/3	12	1	3	2	1

飾磨工業

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	西 川 佳 吾	2	2	1	1	中安		四球		四球	四球		二飛					
2	三	安 井 杏 耶	3	1	0	0	遊飛		二ゴ		四球	捕失		四球					
3	投 右 投	山 田 瑠	3	0	1	1	左2		三失		一犠	三邪		四球					
4	左	多 田 羅 大 輔	3	0	1	2	四球		四球		三ゴ	三振		中安					
5	二	小 路 和 輝	4	0	0	0	遊併		捕邪		二直		三振						
6	捕	井 上 太 稀	3	1	0	0		捕ゴ	三振			四球	三振						
7	中	伊 賀 神 一 郎	2	0	0	0		三振		三振									
7	打 右 投 右	福 田 悠 平	1	1	0	0						四球	二飛						
8	一	福 田 幸 基	4	0	1	0		右安		三振		三振		三ゴ					
9	右 中	塩 田 涼	3	0	0	0		三振		三振		死球		中飛					
合計			28	5	4	4	残塁:11 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
山 田 瑠
福 田 悠 平
山 田 瑠

捕手
井 上 太 稀

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
山 田 瑠	6 0/3	27	3	5	8	2
福 田 悠 平	2 2/3	14	5	4	1	2
山 田 瑠	0 1/3	1	0	0	0	0

■戦評

2回戦江戸川球場の第3試合は、1回戦を継投により逃げ切り勝利した兵庫県立飾磨工業高校と2年連続2回目出場の東京都第2代表・星槎国際高校・東京・通信制の対戦となった。飾磨工業が初回3番山田の適時二塁打により1点を先制すると、星槎国際・東京も4回7番徳永の適時安打で同点に追いつく。追いつかれた飾磨工業は5回内野ゴロにより1点を勝ち越すと6回にも2点を追加する。粘る星槎国際・東京は7回4番秦の適時安打により1点を返すとなお二死満塁から6番種藤の内野安打の間に二者が生還し同点に追いつく。同点で迎えた9回星槎国際・東京は二死三塁の好機を作る。ここで飾磨工業は先発した主戦山田を再びマウンドに戻す。この起用に山田が応え無失点に抑えるとその裏今度は飾磨工業が連続四球により無死一二塁の好機を作る。ここで4番多田羅の放った打球が高く跳ね遊撃手の頭上を越える間に二塁走者が生還しサヨナラ。飾磨工業が5-4で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた星槎国際・東京は4回7回の同点後に追加点を取りリードを奪うことができなかったのが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 晴れ

キラリ高校・通 対 千葉県立市川工業高校

■球場 大田スタジアム 第1試合 2回戦

■試合時間 3時間03分 ■備考

■審判 球審:田島 塁審:河村 安田 清水

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
キラリ・通	山静・静岡	0	0	0	1	2	1	0	2	0						6	9	3
市川工業	千葉	1	0	1	3	0	0	2	0	X						7	5	6

キラリ・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	二	原野拓巳	5	1	1	1	二ゴ		投ゴ		三安	三失		二選					
2	三	絹村拓海	4	1	3	2	三振			四球	右安	二安		左安					
3	一	服部純尚	4	0	0	0	二ゴ			投儀	三ゴ		中飛	三振					
4	捕	油井奎弥	4	0	1	0		三ゴ		遊ゴ	死球		遊失		左2				
5	投	絹村希望	4	0	1	1		遊失		遊安	投飛		遊ゴ		四球				
6	右	岸端秀晴	4	0	0	0		三振		四球		三振	三振		一ゴ				
7	左	山本海斗	4	1	0	0		右飛		三振		四球		二ゴ	一飛				
8	遊	松本侑禪	5	1	1	0			三振		三振	二失		左安	中飛				
9	中	原田温和	4	2	2	1			右ゴ		遊安	三振		中3					
合計			38	6	9	5	残塁:11 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
絹村希望

捕手
油井奎弥

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
絹村希望	8	41	5	8	12	5

市川工業

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中	相模武	4	1	0	1	三振		死球	二安		三失	一飛						
2	二	金田皓平	5	0	0	2	三飛		一ゴ	一ゴ		三飛		遊飛					
3	捕	菅原優人	3	1	0	0	死球		四球	二ゴ		三振		三飛					
4	遊	三橋拓未	2	0	2	1	右安		四球		四球		四球	右2					
5	一	吉田穂	5	1	0	0		三振	投ゴ		三振		遊ゴ	遊ゴ					
6	三	宮下雷麻	2	1	0	0		死球		投ゴ	三振		四球						
7	右	市原拓也	3	1	0	0		三ゴ		四球	三振		捕邪						
8	左	猿田千弘	3	1	1	0		三ゴ		三安		三振	四球						
9	投	近藤真澄	2	1	2	2			三振	死球		四球	左安						
合計			29	7	5	6	残塁:10 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
近藤真澄

捕手
菅原優人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤真澄	9	44	9	9	5	4

■戦評

2回戦大田スタジアムの第1試合は1回戦をともに二桁得点によるコールドで勝利したキラリ高校・通信制と千葉県立市川工業校の対戦となった。市川工業は初回4番三橋の二塁手頭上を高いバウンドで抜ける安打の間に二塁走者の菅原が生還し1点を先制すると3回に1点を追加する。4回表キラリは絹村(希)の適時内野安打で1点を返したが、その裏市川工業は1番相模の適時内野安打などで3点を奪い引き離しにかかる。追いかけるキラリは5回に三連打と相手の守備の乱れから2点、6回にも適時内野安打により1点を返し再び1点差とする。7回市川工業は二死満塁から粘投を続ける先発近藤が自ら2点適時安打を放ち7-4としたが、8回キラリが9番原田の適時三塁打と野選により三度1点差に迫る。8回裏二死三塁のピンチをしのいだキラリは9回先頭の4番油井が二塁打で出塁し暴投や四球、盗塁などで無死二三塁と一打逆転の好機を作ったが後続が断たれ万事休す。7-6の接戦を制した市川工業がベスト8に進出した。一方敗れたキラリは6回8回と二度同点の走者が本塁で憤死したのが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 曇り

クラーク記念国際高校・札幌・通 対 大阪府立桃谷高校

■球場 大田スタジアム 第2試合 2回戦

■試合時間 2時間02分 ■備考 8回コールド

■審判 球審:小山 塁審:仲田 河田 森井

(中断3分)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8						計	安	失
桃谷	大阪	1	0	0	1	0	3	2	3						10	9	1
クラーク札幌・通	北海道	0	1	0	0	0	0	0	0						1	2	1

桃谷

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	左	築瀬 陸風	5	1	3	2	二安	中安	一ゴ			投飛	右安					
2	一	土井 猛	4	2	2	3	投ゴ	三失				死球	中本	中2				
3	捕	山田 駿汰	4	1	2	1	左安	遊ゴ				中安	四球	右飛				
4	投	金 珍秀	4	0	0	0	捕飛		一直			一飛	遊ゴ					
5	遊	藤井 豪	4	1	1	1	三振		中3			三ゴ		三振				
6	二	山川 翔生	2	2	1	2		三ゴ	中犠			左3		死球				
7	右	前田 哉瑠	3	1	0	0		三振	三振			三振		四球				
8	三	福辻 功児	2	2	0	0		三振				三振		死球	四球			
9	中	乾 仁斗	4	0	0	0			三振			三邪		三邪	三振			
合計			32	10	9	9	残塁:5		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
金 珍秀
山川 翔生
山田 駿汰

捕手
山田 駿汰
山川 翔生

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
金 珍秀	5 1/3	18	1	6	2	1
山川 翔生	1 2/3	8	1	3	2	0
山田 駿汰	1	3	0	1	2	0

クラーク札幌・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	中	村田 海斗	2	0	1	0	右飛	二安				四球		四球				
2	遊	盛 海征	4	0	1	0	三振	右飛				中2		三振				
3	一	高橋 雄馬	3	0	0	0	三振		遊ゴ			三振						
4	三	清水 大聖	2	1	0	0		四球	二ゴ				三振					
5	捕	岩本 剛汰	2	0	0	0		投ゴ	三振				四球					
6	二	大野 穂斗	1	0	0	1		右犠				四球		三失				
7	左	阿原 康平	3	0	0	0		三ゴ				三振		三振				
8	右	佐藤 響	3	0	0	0			投ゴ			三振		二ゴ				
9	投	室山 仁	2	0	0	0			遊飛			三振		四球				
合計			22	1	2	1	残塁:4		併殺:0									
備考																		

■バッテリー

投手
室山 仁
村田 海斗

捕手
岩本 剛汰

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
室山 仁	7	31	7	7	3	7
村田 海斗	1	8	2	2	3	3

■戦評

2回戦大田スタジアムの第2試合は、3年連続3回目出場の北海道代表・クラーク記念国際高校・札幌・通信制と1回戦を14得点の猛攻で制した大阪府立桃谷高校の対戦となった。桃谷は初回一死三塁から3番山田の適時安打により1点を先制したが、クラーク記念国際・札幌も2回一死三塁から6番大野が右翼に犠飛を打ち同点に追いつく。追いつかれた桃谷は4回一死から5番藤井が左中間への三塁打で出塁し6番山川が中堅へ犠飛を打ち1点を勝ち越すと、6回6番山川の適時三塁打などで3点を追加する。勢いに乗る桃谷は7回2番土井の中堅越ランニング本塁打で2点を奪うと8回1番築瀬の2点適時安打などで3点を加え試合を決めた。桃谷は3投手の継投で3回以降クラーク記念国際・札幌に三塁すら踏ませず8回コールド10-1で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れたクラーク記念国際・札幌は中盤以降出塁した走者が度々盗塁死や牽制死となり反撃の糸口をつかめなかったのが、何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 曇り
 ■球場 大田スタジアム 第3試合 2回戦
 ■審判 球審:清水 塁審:安田 仲田 田島

沖縄県立那覇工業高校 対 宮崎県立延岡青朋高校・通
 ■試合時間 2時間19分 ■備考 延長10回

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					計	安	失
那覇工業	沖縄	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0					3	10	6
延岡青朋・通	東九州・宮崎	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1x					4	4	3

那覇工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
1	左		大城翔平	5	1	2	0	右安	遊ゴ			一ゴ		中安		二失					
2	二		宮城和貴	3	0	1	0	三安		四球		二ゴ		一ゴ		四球					
3	捕		新里奨平	5	0	2	2	三併		三振		一ゴ		遊安		右安					
4	投		中村文	5	0	0	0	三振		遊飛			一邪	一飛		三併					
5	中		嘉納翔	2	1	0	0		四球	四球			三振		投ゴ		四球				
6	一		翁長常次	4	0	2	0		四球	三振			中安		二ゴ		中3				
7	三		宇地原翔希	5	0	1	0		三振		三振		右安		中飛		捕邪				
8	遊		小濱裕二郎	5	1	2	1		左安		三振		三振			中安	三振				
9	右		上原玲音	2	0	0	0		三振		三振										
		右	大湾璃樹	2	0	0	0								三振		三振				
合計				38	3	10	3	残塁:11 併殺:0													
				備考																	

■バッテリー

投手
中村文

捕手
新里奨平

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
中村文	9 1/3	40	4	18	5	0

延岡青朋・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
1	捕		石川実典	3	2	2	0	左安		打妨		遊ゴ		左安			死球				
2	二		小野賢辰	5	1	0	0	投ゴ		遊失		三振		一邪			投ゴ				
3	投		水永蒼	4	0	0	0	三振		三振		三振			一飛		死球				
4	一		畠山勝翔	5	0	2	3	三振		右2			中飛		三振		右安				
5	右		浜松大介	3	0	0	0		死球	三振			三ゴ		三ゴ						
6	三		北川昂嗣	3	1	0	0		三振		死球		三振			三振					
7	中		佐田圭斗	4	0	0	0		三振		三振			二ゴ		三振					
8	遊		黒木佑真	4	0	0	0		三振		三振			三振		中飛					
9	左		山本永遠	3	0	0	0			三振	三振			四球			右飛				
合計				34	4	4	3	残塁:8 併殺:2													
				備考																	

■バッテリー

投手
水永蒼

捕手
石川実典

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
水永蒼	10	44	10	13	6	0

■戦評

2回戦大田スタジアムの第3試合は、1回戦をコールドで制した沖縄県立那覇工業高校と4年ぶり3回目出場の東九州地区代表・宮崎県立延岡青朋高校・通信制の対戦となった。那覇工業が2回8番小濱の適時安打で1点を先制する。延岡青朋は3回4番畠山の2点適時二塁打で逆転すると4回に1点を追加する。延岡青朋先発水永は走者を出しながらも要所を締める投球を、一方那覇工業先発中村は変化球を軸に三振の山を築く投球を見せる。両先発の好投により3-1のまま試合は最終回へ。9回表那覇工業は一死満塁から3番新里の打球が一塁手強襲の安打となり二者が生還し土壇場で同点に追いつくが、後続が併殺に倒れ同点止まり。続く10回、先頭の5番嘉納が四球で出塁するも盗塁死となり続く6番翁長が三塁打を放つなど攻撃が噛み合わず勝ち越し点を奪えない。その裏延岡青朋は二つの死球と敵失により一死満塁とすると4番畠山が右翼手頭上を越える安打を放ちサヨナラ。延長戦を4-3で制した延岡青朋がベスト8に進出した。一方最後は力尽きたもののこの試合も最後まで一人で投げ抜き2試合連続二桁奪三振を記録した那覇工業中村の投球は実に見事であった。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 曇り

東京都立八王子拓真高校 対 川崎市立川崎高校

■球場 府中市民球場 第1試合 2回戦

■試合時間 1時間40分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:星 塁審:菊池 山田 松山

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5										計	安	失
川崎	神奈川	1	0	0	0	4										5	6	6
八王子拓真	東京1	7	2	5	0	1										15	9	0

川崎		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	右		穴久保 透 輝	3	2	1	1	中本		遊ゴ		一ゴ							
2	二		深田 凜	3	0	0	0	三ゴ			三振	捕飛							
3	遊		丹代 晴 大	2	1	2	4	左2			死球	左本							
4	三		松本 圭 斗	3	0	0	0	一邪			一邪	三振							
5	捕		久保 太 一	1	0	0	0		右直		死球								
6	一		斉藤 海 斗	2	0	1	0		中3		三振								
7	中		名渡山 涼 太	2	0	1	0		三振			左安							
8	投		原田 拓 海	1	1	1	0			中安		四球							
9	左		大澤 秀 太	0	1	0	0			四球		死球							
合計				17	5	6	5	残塁:2 併殺:1											
備考																			

■バッテリー

投手
原田 拓 海

捕手
久保 太 一

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
原田 拓 海	4 0/3	31	9	0	7	8

八王子拓真		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	投	三	植野 龍 也	2	2	2	0	四球	死球		遊安	左2								
2	中		高橋 優 也	4	1	1	2	右安	投ゴ		三ゴ	二飛								
3	捕		長嶋 凌	4	2	1	0	投飛		右飛	二失	右2								
4	三	投	吉田 拓 巳	3	2	0	0	四球		二失	中失	三失								
5	二		佐藤 秀 斗	2	3	0	0	四球		遊ゴ	投失									
5	二		渡邊 郁 矢	0	0	0	0													
6	一	投	小野 充 輝	2	2	1	1	死球		右安	三ゴ									
7	左		横田 俊 輔	2	0	1	3	遊ゴ		右安	死球									
8	右		永田 大 輝	1	1	0	0	四球		投ゴ										
8	打	右	国吉 大 生	1	0	1	0					遊安								
8		右	櫻田 和 宏	0	0	0	0													
9	遊		太田 利 明	3	2	2	3	中3			右安	投飛								
合計				24	15	9	9	残塁:4 併殺:0												
備考																				

■バッテリー

投手
植野 龍 也
吉田 拓 巳
小野 充 輝

捕手
長嶋 凌

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
植野 龍 也	3	10	4	1	1	1
吉田 拓 巳	1	5	0	2	2	0
小野 充 輝	1	7	2	1	2	4

■戦評

2回戦府中球場の第1試合は、2年ぶり4回目出場の東京都第1代表・都立八王子拓真高校と1回戦をコールドで制した川崎市立川崎高校の対戦となった。先攻の川崎は初回1番穴久保が中堅越の先頭打者本塁打を放ち1点を先制する。八王子拓真はその裏1番植野が四球で出塁するとすかさず二盗を決め2番高橋の安打の間に生還しすぐさま同点に追いつくと、9番太田の走者一掃適時三塁打などこの回打者11人の猛攻で7点を奪う。攻撃の手を緩めない八王子拓真は2回7番横田の適時安打で2点を追加すると3回にも相手のミスを逃さず5点を加え14-1と大差をつける。何とかしたい川崎は5回この回から救援した八王子拓真3番手小野を攻め安打と四死球により二死ながら満塁とすると3番丹代が左翼スタンドへ満塁本塁打を放ち4点を返す。しかしその裏八王子拓真は先頭の3番長嶋が二塁打で出塁すると内野ゴロ悪送球の間に生還し試合終了。5回コールド15-5で八王子拓真が勝利し、ベスト8に進出した。一方大差で敗れた川崎であったが主将丹代の2打数2安打4打点の活躍が光った。

■日時 平成29年8月18日(金) ■天候 曇り 秋田県立秋田明徳館高校 対 岡山県立岡山操山高校・通
 ■球場 府中市民球場 第2試合 2回戦 ■試合時間 2時間08分 ■備考
 ■審判 球審:菊池 塁審:山田 星 松山

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
岡山操山・通	東中国・岡山	4	0	1	0	0	1	0	0	0	6	6	5
秋田明徳館	北東北・秋田	1	0	3	0	0	2	1	0	X	7	8	4

岡山操山・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中投	吉澤 響	3	0	1	0	二ゴ	四球			遊安		三振						
2	二	遠藤 祐毅	3	1	0	0	四球	三振			三ゴ		中飛						
3	投中	難波 龍斗	4	1	2	0	右安		右飛					右安					
4	一	東山 康平	4	3	2	0	二失		右2			中3		投ゴ					
5	遊	森 大輔	3	1	1	3	左2		投ゴ			右犠		捕邪					
6	三	足立 誠也	3	0	0	1	中犠		三振			一飛			三振				
7	左	横田 榛輝	4	0	0	0	左直			三ゴ		三振			三失				
8	右	有馬 直人	3	0	0	0		遊ゴ		遊飛			三振						
8	打	神戸 健亮	1	0	0	0									一ゴ				
9	捕	岡本 佑斗	2	0	0	0		四球		投飛			四球		三振				
合計			30	6	6	4	残塁:3 併殺:1												
備考																			

■バッテリー

投手
難波 龍斗
吉澤 響

捕手
岡本 佑斗

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
難波 龍斗	6	31	6	6	4	5
吉澤 響	2	10	2	3	0	0

秋田明徳館

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	投	阿部 和行	3	3	1	0	四球		中3	二ゴ		四球		遊飛					
2	遊	畠山 湊	4	1	1	0	二ゴ		三振		三失	四球		中2					
3	捕	安部 泰地	4	1	4	3	打妨		中安		三安	左3		遊安					
4	一	青木 真輝	4	1	1	2	三選		中2		四球	投ゴ		三ゴ					
5	三	千葉 翔太	5	1	0	0	中飛		振逃		三邪		遊失	三ゴ					
6	右	泉 凌大	4	0	0	0		遊ゴ	三振		三振		三振						
7	中	石川 辰也	4	0	1	0		右安	投ゴ		左飛		三振						
8	二	後藤 凌太	4	0	0	0		三ゴ		中飛		二ゴ	三失						
9	左	佐々木 快真	0	0	0	0													
9	左	高橋 哲	4	0	0	0		三振		投ゴ		三振	三振						
合計			36	7	8	5	残塁:10 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
阿部 和行

捕手
安部 泰地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
阿部 和行	9	36	6	7	4	2

■戦評

2回戦府中球場の第2試合は1回戦を終盤の逆転で制した秋田県立秋田明徳館高校と2年連続11回目出場で前年度準優勝校の東中国地区代表・岡山県立岡山操山高校・通信制の対戦となった。先攻の岡山操山は初回5番森の2点適時二塁打などにより4点を先制するが秋田明徳館もその裏、野選により1点を返す。3回岡山操山は相手のミスから1点を追加すると秋田明徳館が4番青木の適時二塁打などですぐさま3点を返し5-4とし1点差に迫る。再び試合が動いたのは6回、岡山操山は4番東山が三塁打で出塁すると5番森が右翼へ犠飛を打ち1点を奪うが、秋田明徳館はその裏二死から連続四球により一、二塁とすると3番安部が左翼越適時三塁打を打ち同点に追いつく。続く7回秋田明徳館は岡山操山の二つの失策を逃さず1点を奪いついに試合をひっくり返す。追い込まれた岡山操山は8回9回と得点圏に走者を進めたがあと1本が出ずに試合終了。秋田明徳館が7-6で勝利し、ベスト8に進出した。一方敗れた岡山操山は2回の追加点の好機を活かせなかったのが、その後の展開を考えると何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月19日(土) ■天候 曇り 東京都立八王子拓真高校 対 秋田県立秋田明徳館高校
 ■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 1時間23分 ■備考 6回コールド
 ■審判 球審:山田 塁審:竹本 佐々木 星

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6									計	安	失
八王子拓真	東京1	0	0	0	5	4	2									11	11	2
秋田明徳館	北東北・秋田	0	0	0	0	0	0									0	0	6

八王子拓真		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	投	三	植野龍也	4	0	0	1	二飛	投飛	二ゴ		三ゴ							
2	中		高橋優也	3	1	2	0	右2	死球	二ゴ		中3							
3	捕		長嶋凌	4	2	2	1	二ゴ		三振		右安	左安						
4	三	投	吉田拓巳	3	1	1	2	三振			右失	右犠	左安						
5	二		佐藤秀斗	3	2	0	0		三振		三失	遊失							
5		二	渡邊郁矢	0	0	0	0												
5	打		国吉大生	1	0	0	0								遊ゴ				
6	一	右	小野充輝	4	1	1	1		三振		右飛	中安	三ゴ						
7	左		横田俊輔	3	1	1	0		捕邪		投安	中飛							
8	右	二	永田大輝	3	2	3	3			中安	二安	中本							
9	遊		太田利明	3	1	1	2			三振	左安	三振							
合計				31	11	11	10	残塁:4 併殺:0											
				備考															

■バッテリー

投手
植野龍也
吉田拓巳

捕手
長嶋凌

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
植野龍也	4	13	0	6	2	0
吉田拓巳	2	8	0	2	2	0

秋田明徳館		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	投		阿部和行	2	0	0	0	遊失		遊ゴ			四球						
2	遊		畠山溪	3	0	0	0	三失			三振	二飛							
3	捕		安部泰地	2	0	0	0	死球			三ゴ	捕邪							
4	一		青木真輝	2	0	0	0	投ゴ			三振								
5	三		千葉翔太	2	0	0	0		三振			三振							
6	中		石川辰也	0	0	0	0			四球		死球							
7	二		後藤凌太	2	0	0	0		三振			捕邪							
8	左	右	佐々木快真	1	0	0	0			三振									
8		右	高橋哲	1	0	0	0					三振							
9	右	左	泉凌大	2	0	0	0			三振			投ゴ						
合計				17	0	0	0	残塁:3 併殺:0											
				備考															

■バッテリー

投手
阿部和行

捕手
安部泰地

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
阿部和行	6	33	11	6	1	3

■戦評

駒沢球場で行われた準々決勝第1試合は、2回戦をコールドで勝ち上がった東京都立八王子拓真高校と1・2回戦をともに終盤の逆転で制した秋田県立秋田明徳館高校の対戦となった。序盤は秋田明徳館・阿部、八王子拓真・植野の両先発主戦投手が走者を出しながらも粘り強い投球で得点を許さない。試合が動いたのは4回、八王子拓真は秋田明徳館の守りのミスを逃さず1点を先制すると7番横田8番永田9番太田の三連打などによりこの一回一挙5点を奪う。勢いに乗った八王子拓真は5回6番小野の適時安打と8番永田の中堅越本塁打などで4点を追加すると、続く6回3番長嶋4番吉田が連続適時安打を放ち2点を加え試合を決めた。投げては植野、吉田の継投により秋田明徳館打線を無安打に抑え、投打に相手を圧倒した八王子拓真が6回コールド11-0で勝利し、準決勝に駒を進めた。一方敗れた秋田明徳館は初回、2回と出塁した走者がことごとく盗塁死や牽制死となり得点圏に走者を進められず先制の好機を作れなかったのが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月19日(土) ■天候 晴れ

大阪府立桃谷高校 対 宮崎県立延岡青朋高校・通

■球場 駒沢公園硬式野球場 第2試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 2時間10分 ■備考

■審判 球審:安田 塁審:小山 仲田 佐々木

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
延岡青朋・通	東九州・宮崎	0	0	0	0	0	2	1	0	0						3	2	2
桃谷	大阪	1	3	0	0	0	0	1	0	×						5	6	1

延岡青朋・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	捕	石川 実典	2	1	0	0	右飛		三振			死球	四球						
2	二	小野 賢辰	3	1	2	1	右安		三振			犠失	中安						
3	左	水 永 蒼	3	0	0	0	三振			三ゴ		死球	捕邪						
4	一	島山 勝翔	3	0	0	1	二ゴ			投飛		四球		二ゴ					
5	投	浜松 大介	4	0	0	0		投ゴ		投ゴ		三振		三振					
6	三	北川 昂嗣	4	0	0	0		三振			遊ゴ	三振		三振					
7	中	佐田 圭斗	3	0	0	0		三ゴ			四球	三振			投ゴ				
8	遊	黒木 佑真	4	1	0	0			三ゴ		三振		振逃		三振				
9	右	山本 永遠	2	0	0	0			四球		三振		投飛						
	打	成合 裕介	1	0	0	0									三振				
合計			29	3	2	2	残塁:6 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
浜松 大介

捕手
石川 実典

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
浜松 大介	8	35	6	7	5	3

桃谷

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	左	築瀬 陸風	4	2	3	0	左安	二飛			中安		右安						
2	一	土井 猛	3	0	1	2	中3	左犠			中飛		三失						
3	投	山田 駿汰	4	0	0	0	三ゴ	中飛			投飛		投飛						
4	二	金 珍秀	4	0	1	0	投飛		中飛		中安		投ゴ						
5	遊	藤井 豪	4	0	0	0	三振		三飛		三振			三振					
6	捕	山川 翔生	2	1	0	0		四球	遊ゴ			遊ゴ		死球					
7	右	前田 哉瑠	2	1	0	0		死球		死球		三振		捕邪					
8	三	福辻 功児	3	1	0	0		死球		三振		三ゴ		三振					
9	中	乾 仁斗	3	0	1	1		右安		三振			二ゴ						
合計			29	5	6	3	残塁:6 併殺:1												
備考																			

■バッテリー

投手
山田 駿汰

捕手
山川 翔生

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
山田 駿汰	9	36	2	14	6	0

■戦評

駒沢球場で行われた準々決勝第2試合は、1・2回戦をともし二桁得点によるコールドで勝ち上がった大阪府立桃谷高校と2回戦を延長サヨナラで制した宮崎県立延岡青朋高校・通信制の対戦となった。桃谷は初回2番土井の適時三塁打により率先よく1点を先制すると、2回三者連続四死球を足がかりに9番乾の適時安打などにより3点を追加する。桃谷先発山田は伸びのあるストレートと変化球を用いて徹底して外角を攻め、5回まで延岡青朋打線を0点に抑える。延岡青朋先発浜松も3回以降立ち直りを見せ桃谷打線に追加点を許さない。再び試合が動いたのは6回、延岡青朋は三つの四死球に相手のミスもあり2点を返すと続く7回、振逃と暴投により走者を二塁に進め2番小野の適時安打により1点差に迫る。その裏桃谷は1番築瀬がこの試合3本目となる安打で出塁すると内野ゴロ悪送球の間に一気に生還し貴重な追加点を奪う。試合はこのまま5-3で桃谷が逃げ切り、準決勝に駒を進めた。一方敗れた延岡青朋は6回7回の得点後にもう1本が出ず、試合の流れを掴み切れなかったのが何とも悔やまれる結果となった。

■日時 平成29年8月19日(土) ■天候 晴れ

千葉県立市川工業高校 対 愛知県立愛知工業高校

■球場 江戸川区球場 第1試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 1時間48分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:大和 塁審:松山 須田 鈴木(優)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5										計	安	失
愛知工業	東海・愛知	0	0	0	0	0										0	2	3
市川工業	千葉	3	2	11	5	×										21	17	1

愛知工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5						
1	三	遊中投捕	伊藤 将宏	2	0	0	0	投飛		中飛		四球						
2	二		松山 直紀	3	0	1	0	中安		三ゴ		二ゴ						
3	遊	投遊	吉井 巧	3	0	0	0	投飛		捕邪		右飛						
4	捕		横井 翼	2	0	0	0	一ゴ				投飛						
5	中	投右投	伊藤 涼太	2	0	1	0		右2			左飛						
6	一		三河 龍雅	0	0	0	0		四球			四球						
7	左		吉井 涼太	2	0	0	0		三振			捕邪						
8	投	三	安藤 寛大	1	0	0	0		四球			中飛						
9	右		吉田 光汰	1	0	0	0		投飛									
9	打		内山 丈	1	0	0	0											
9	走		糸原 竜輝	0	0	0	0											
合計				17	0	2	0	残塁:6		併殺:0								
備考																		

■バッテリー

投手
安藤 寛大
吉井 巧
伊藤 涼太
伊藤 将宏
伊藤 涼太

捕手
横井 翼
伊藤 将宏

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
安藤 寛大	1 2/3	14	6	0	1	2
吉井 巧	1/3	5	3	0	1	4
伊藤 涼太	0/3	5	3	0	1	5
伊藤 将宏	1	5	1	0	1	2
伊藤 涼太	1	10	4	1	2	5

市川工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	3	4	4					
1	中		相模 武	3	3	2	7	右失	投犠	右本	中本	死球						
2	二		金田 皓平	5	2	3	2	投安	左飛	左安	二飛	二安						
3	捕		菅原 優人	4	4	3	3	投安	右本	四球		左2	一ゴ					
4	遊		三橋 拓未	3	1	1	2	四球	三安	投選		二ゴ						
5	一		吉田 穂	4	2	2	1	投飛	三失	右安		右安						
6	右	三	近藤 真澄	3	1	1	2	二飛	遊ゴ	中安		捕犠						
7	三	投	三浦 清隆	4	2	2	1	遊安		遊安	三ゴ	振逃						
8	左		猿田 千弘	3	3	2	1	三ゴ		捕安	死球	中安						
9	投		宮下 雷麻	1	3	1	0		右安	四球	投犠	四球						
9		右	市原 拓也	0	0	0	0											
合計				30	21	17	19	残塁:6		併殺:0								
備考																		

■バッテリー

投手
宮下 雷麻
三浦 清隆

捕手
菅原 優人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
宮下 雷麻	4	16	2	1	3	0
三浦 清隆	1	5	0	0	1	0

■戦評

江戸川球場で行われた準々決勝第1試合は、ともに2回戦の接戦を制した千葉県立市川工業高校と愛知県立愛知工業高校の対戦となった。初回先攻の愛知工業は2番松山が安打で出塁し盗塁を決め得点圏に進むが後続が断たれ無得点に終わる。後攻の市川工業は7番三浦(清)の適時安打や相手の守備の乱れもあり3点を先制する。2回愛知工業は先頭の5番伊藤(涼)が二塁打で出塁するが攻撃が噛み合わず得点を奪うことができない。その裏市川工業は3番菅原の本塁打により2点を追加し試合の流れを掴む。勢いに乗った市川工業打線は3回4回と愛知工業投手陣を攻め、3回に1番相模の2打席連続本塁打など打者14人の攻撃で11点を、4回は2番金田の2点適時安打など打者10人の攻撃で5点を奪った。愛知工業は5回敵失と四球により二死ながら二三塁と好機を作ったが最後まで得点を奪えず試合終了。先発全員安打全員得点を記録した市川工業が5回コールド21-0で勝利し、準決勝に駒を進めた。一方敗れた愛知工業は投手陣が連戦の疲れからか本来の力を発揮できず失点を重ねてしまい無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月19日(土) ■天候 晴れ

天理高校 対 兵庫県立飾磨工業高校

■球場 江戸川区球場 第2試合 3回戦 準々決勝 ■試合時間 1時間30分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:菊池 塁審:鈴木(優) 田島 須田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5									計	安	失
飾磨工業	兵庫	0	0	0	0	0									0	4	2
天理	近畿・奈良	1	3	2	3	1x									10	11	1

飾磨工業		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5						
1	遊		西川 佳吾	2	0	0	0	中飛	三ゴ			四球						
2	三		安井 杏耶	3	0	1	0	遊失		右2		二飛						
3	中	投 右	山田 瑠	3	0	2	0	中飛		投安		左安						
4	左		多田 羅大輔	1	0	0	0	四球		三振								
5	二		小路 和輝	2	0	0	0	左飛		三振								
6	捕		井上 太稀	2	0	0	0		左飛	左飛								
7	右	投	福田 悠平	1	0	0	0		四球			二飛						
8	一		福田 幸基	2	0	0	0		投飛			三振						
9	投	中	塩田 涼	2	0	1	0		二安			投ゴ						
合計				18	0	4	0	残塁:6		併殺:0								
備考																		

■バッテリー

投手
塩田 涼
山田 瑠
福田 悠平

捕手
井上 太稀

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
塩田 涼	1 2/3	13	4	1	2	3
山田 瑠	2 1/3	14	5	1	3	4
福田 悠平	1/3	3	2	0	0	1

天理		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5						
1	左		窪田 正喜	4	2	3	3	左本	左安	左安		中飛						
2	遊		片山 幸輔	4	1	1	0	遊飛	二失	三ゴ		中安						
3	三		岡田 民生	4	1	3	1	一安	三ゴ		中2	左安						
4	右		岩城 潤	2	0	0	0	中飛	死球			二飛						
5	二		畦越 純	1	1	1	1	死球	死球			右安						
6	一		浅見 紫歌	3	1	1	0	三振	三振			左2						
7	捕		原田 成人	3	1	1	0		二安	右飛	一邪							
8	投		堀部 陸	2	1	1	1		遊ゴ	死球	左安							
9	中		大江 治義	1	2	0	0		四球	犠失	右飛							
合計				24	10	11	6	残塁:7		併殺:1								
備考																		

■バッテリー

投手
堀部 陸

捕手
原田 成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
堀部 陸	5	21	4	3	3	0

■戦評

江戸川球場で行われた準々決勝第2試合は、1・2回戦をコールドで勝ち上がった天理高校と2回戦をサヨナラで制した兵庫県立飾磨工業高校の対戦となった。天理は初回先頭の窪田が左翼越ランニング本塁打を打ち幸先よく1点を先制すると2回に暴投や敵失など相手のミスを逃さず3点を追加する。初回、2回と得点圏に走者を進めながら無得点に終わっていた飾磨工業は3回、先頭の2番安井が二塁打で出塁すると3番山田も内野安打と盗塁で続き無死二三塁と好機を作ったが後続が連続三振と外野フライに倒れまたしても得点を奪えない。ピンチをしのいだ天理はその裏暴投と適時安打により2点を奪うと4回に2本の長打などにより3点を加える。反撃を試みたい飾磨工業であったが5回も四球と安打で走者を出すものの天理の堅実な守りの前に最後まで本塁は遠く、5回に3番岡田の適時安打により1点を追加した天理が5回コールド10-0で勝利し、準決勝に駒を進めた。一方敗れた飾磨工業は1・2回戦勝利の原動力となった粘り強い攻撃を発揮することができず、無念の敗戦となった。

■日時 平成29年8月19日(土) ■天候 曇り

東京都立八王子拓真高校 対 大阪府立桃谷高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第3試合 4回戦 準決勝 ■試合時間 1時間11分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:竹本 塁審:仲田 山田 安田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5										計	安	失
桃谷	大阪	0	0	0	1	0										1	4	4
八王子拓真	東京1	7	0	5	0	×										12	8	1

桃谷

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
1	左	築瀬 陸風	3	0	0	0	遊ゴ		一ゴ		二ゴ							
2	一捕	土井 猛	2	0	1	0	中安		四球		左飛							
3	捕	山田 駿汰	2	0	0	0	遊ゴ		遊飛									
4	投	金 珍秀	2	0	1	0		中飛		左安								
5	遊	藤井 豪	2	1	0	0		三ゴ		遊失								
6	二一投	山川 翔生	1	0	1	1		死球		左2								
7	右	前田 哉瑠	2	0	1	0		左安		投ゴ								
8	三	福辻 功児	2	0	0	0		三振		投ゴ								
9	中	乾 仁斗	1	0	0	0			捕ゴ									
9	打	河村 羽翼	1	0	0	0					捕邪							
合計			18	1	4	1	残塁:4 併殺:0											
備考																		

■バッテリー

投手
金 珍秀
山田 駿汰
山川 翔生

捕手
山田 駿汰
土井 猛

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
金 珍秀	1	12	3	1	6	7
山田 駿汰	1 2/3	14	5	1	2	3
山川 翔生	1 1/3	4	0	2	0	0

八王子拓真

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	1	2	3	3	4	5	6	7	8	9		
1	投	植野 龍也	3	2	2	4	四球	中2		中本		二飛							
2	中	高橋 優也	3	2	2	0	投安	四球		中安		三振							
3	捕	長嶋 凌	3	1	1	2	中3	左飛		四球		投ゴ							
4	三投	吉田 拓巳	3	1	1	0	右失		一安	振逃									
5	二	佐藤 秀斗	1	2	1	1	死球		投犠	投安									
5	右	櫻田 和宏	0	0	0	0													
6	一	小野 充輝	3	0	0	0	三振		遊ゴ	三失									
7	左	横田 俊輔	2	1	0	0	四球		捕邪	遊失									
8	右二	永田 大輝	1	1	0	0	四球			三ゴ	四球								
9	遊	太田 利明	2	2	1	0	死球			投安	三振								
合計			21	12	8	7	残塁:6 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手
植野 龍也
吉田 拓巳

捕手
長嶋 凌

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
植野 龍也	4	17	4	1	2	0
吉田 拓巳	1	3	0	0	0	0

■戦評

準々決勝に引き続き駒沢球場で行われた準決勝は、ここまで2試合をともに2桁得点によるコールドで制した東京都立八王子拓真高校と準々決勝を山田の好投により逃げ切り勝利した大阪府立桃谷高校の対戦となった。八王子拓真は初回相手先発金の立ち上がりを読み、無死二三塁から3番長嶋の中堅越二塁打により2点を先制するとその後も隙の無い走塁で相手にプレッシャーをかけ2点を追加する。なお二死満塁からこの回2打席目となる1番植野が走者一掃の適時三塁打を放ち7-0と点差を広げる。攻撃の手を緩めない八王子拓真は3回1番植野の中堅越本塁打など4安打に相手のミスも重なり5点を奪い試合を決めた。反撃したい桃谷は4回一死一塁から6番山川が左翼越適時二塁打を放ち何とか1点を返すのがやっと。5回八王子拓真はこの回から救援した2番手吉田が桃谷の攻撃を三者凡退に抑え試合終了。5回コールド12-1で八王子拓真が勝利し、初の決勝進出を決めた。一方最後は大差での敗退となってしまった桃谷だが、準々決勝まで1番築瀬を中心とした強力な攻撃陣で奪った大量点を金、山川、山田の巧みな継投により逃げ切る野球は全国三位にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。

■日時 平成29年8月19日(土) ■天候 晴れ

千葉県立市川工業高校 対 天理高校

■球場 江戸川区球場 第3試合 4回戦 準決勝 ■試合時間 2時間03分 ■備考 8回コールド

■審判 球審:松山 塁審:大和 菊池 田島

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8							計	安	失
市川工業	千葉	0	0	0	0	0	0	0	0							0	4	4
天理	近畿・奈良	2	0	0	1	0	2	1	1x							7	11	1

市川工業

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8				
1	中	相模 武	4	0	0	0	一飛		遊ゴ			投ゴ		三振				
2	二	金田 皓平	3	0	1	0	右安		遊飛			三振						
3	捕	菅原 優人	2	0	1	0	四球			中安		一ゴ						
4	遊	三橋 拓未	3	0	0	0	三振			三併			一ゴ					
5	一	吉田 穂	3	0	0	0		右飛		三ゴ			三振					
6	投	近藤 真澄	3	0	2	0		中3			二ゴ		二安					
7	三	宮下 雷麻	3	0	0	0		右飛			三振		三振					
8	右	市原 拓也	2	0	0	0		三振			三失							
8	打	三浦 清隆	1	0	0	0											三振	
8	右	三浦 浩隆	0	0	0	0												
9	左	猿田 千弘	3	0	0	0			三振		三ゴ			投ゴ				
合計			27	0	4	0	残塁:4 併殺:0											
備考																		

■バッテリー

投手
近藤 真澄

捕手
菅原 優人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
近藤 真澄	7 1/3	37	11	3	1	4

天理

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8				
1	左	窪田 正喜	5	1	1	1	遊失		一ゴ		二失		左飛	二安				
2	遊	片山 幸輔	4	1	1	0	投飛		三邪		三邪		二安					
3	三投	岡田 民生	3	1	1	0	二安		三邪		二失							
3	走	邊田 三嗣	1	0	0	0								三振				
4	右	岩城 潤	4	1	3	3	左安			中安	捕飛		中安					
5	二	畦越 純	3	1	1	0	二ゴ			三振		四球	三安					
6	一	浅見 紫歌	3	0	0	0	遊邪			三ゴ		一犠	遊ゴ					
7	捕	原田 成人	4	0	2	1		中飛		左3		投ゴ		左2				
8	投	堀部 陸	2	0	0	0		遊ゴ		三振								
8	三	西川 道男	0	0	0	0												
8	右	平野 雄大	2	2	1	0						一失		投安				
9	中	大江 治義	4	0	1	0		二ゴ			左2	二飛		一ゴ				
合計			35	7	11	5	残塁:8 併殺:1											
備考																		

■バッテリー

投手
堀部 陸
岡田 民生
岩城 潤

捕手
原田 成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
堀部 陸	4	14	3	3	1	0
岡田 民生	2/3	3	0	1	0	0
岩城 潤	3 1/3	11	1	5	0	0

■戦評

準々決勝に引き続き江戸川球場で行われた準決勝は、ともに準々決勝を二桁得点によるコールドで制した千葉県立市川工業高校と天理高校という昨年の準決勝と同じ顔合わせとなった。先攻の市川工業は初回一死から安打と四球で一塁とし重盗を仕掛けるが失敗に終わり先制を逃す。対する天理はその裏一死二塁から4番岩城が適時安打を打ち手堅く2点を先制する。序盤の内に点差を縮めたい市川工業は2回一死から6番近藤の中堅越三塁打で好機を作るも無得点に終わると4回は先頭の3番菅原が安打で出塁したが後続が併殺打に倒れ得点を奪えない。守りの流れを攻撃に生かしたい天理はその裏7番原田の左翼越適時三塁打で1点を奪うと6回に相手のミスに逃さず2点を追加する。天理は7回に1点を追加し6-0で迎えた8回一死二塁から1番窪田の内野ゴロの間に三塁走者の平野が生還し(記録は内野安打)試合終了。8回コールド7-0で天理が勝利し、今年も頂点に王手をかけた。一方今年もまた最後は天理の前に涙を飲み結果となった市川工業だが、主将の菅原を筆頭に主戦投手近藤、打線の軸となる相模、三橋といった上級生を中心に見せた攻守にまとまりのある野球は全国三位にふさわしいものであったこと、またこのチームワークの良さが2年連続全国三位という好成績の原動力となっていることは言うまでもないだろう。

■日時 平成29年8月20日(日) ■天候 曇り

東京都立八王子拓真高校 対 天理高校

■球場 駒沢公園硬式野球場 第1試合 5回戦 決勝 ■試合時間 2時間51分 ■備考 延長11回

■審判 球審:仲田 塁審:竹本 安田 藤川

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				計	安	失
天理	近畿・奈良	1	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1				6	10	3
八王子拓真	東京1	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0				5	12	4

天理																				
	ポジション				氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1	左				窪田正喜	5	2	3	0	左3		中安	三振			四球		中2		一ゴ
2	遊				片山幸輔	5	2	2	2	二ゴ		中安		中本		三振		中飛		
3	三				岡田民生	5	0	0	0	三振		三振						一ゴ		二飛
4	右投				岩城潤	5	0	1	2	投ゴ		左2		遊ゴ				三ゴ		三ゴ
5	二				畦越純	5	0	0	0		二失	三ゴ		三邪				三ゴ		三振
6	一				浅見紫歌	4	0	0	0		一ゴ		死球		三振			捕邪		遊ゴ
7	捕				原田成人	5	0	0	0		中飛		投ゴ		捕邪			中飛		一飛
8	投				堀部陸	1	0	0	0		投飛		死球							
8	右				平野雄大	3	2	1	0						一ゴ			二失		右3
9	中				大江治義	5	0	3	1			左飛	左安			投飛		投安		三安
合計						43	6	10	5	残塁:7 併殺:0										
備考																				

■バッテリー

投手
堀部陸
岩城潤

捕手
原田成人

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
堀部陸	4	20	7	2	1	3
岩城潤	7	31	5	8	5	0

八王子拓真																				
	ポジション				氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1	投				植野龍也	5	0	0	0	三ゴ		投権	右飛		一選	中飛			一ゴ	
2	中				高橋優也	6	0	1	1	左2		投ゴ	中飛		三振				左飛	
3	捕				長嶋凌	5	2	2	0	二飛		右安		死球	遊ゴ		捕安		三邪	
4	三				吉田拓巳	6	2	2	0	二ゴ		左安		中安	中飛		三振			二ゴ
5	二				佐藤秀斗	6	0	3	2		三ゴ	左3		一邪		右3		中安		三ゴ
6	一				小野充輝	6	0	0	0		三ゴ	三振		投ゴ		三ゴ		三振		三振
7	左				横田俊輔	3	0	1	0		遊失		中安	四球		四球		三振		
8	右				永田大輝	5	0	2	0		左2			三振	三振					左安
9	遊				太田利明	2	1	1	0			中2	四球		死球	四球				三選
合計						44	5	12	3	残塁:13 併殺:2										
備考																				

■バッテリー

投手
植野龍也

捕手
長嶋凌

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
植野龍也	11	46	10	7	3	4

■戦評

前日夕方からの雷雨の影響により試合開始を午後1時に繰り下げで行われた64回大会の決勝戦はともに入賞までの全試合をコールドで制す盤石の勝ち上がりを見せた東京都立八王子拓真高校と天理高校の顔合わせとなった。初回に1点を先制した天理は3回4番岩城の適時二塁打により2点を追加する。初回2回と得点圏に走者を進めながら無得点に終わっていた八王子拓真は3回内野ゴロにより1点を返すと5番佐藤の2点適時三塁打により同点に追いつく。5回表天理が2番片山の本塁打で1点を勝ち越すが、その裏八王子拓真の機動力を使った攻撃が相手のミスを探い2点を奪って逆転に成功する。八王子拓真は6回7回8回と天理の攻撃を三人ずつで退け、9回表天理の攻撃も簡単に二死となる。ここで8番平野の打球は内野へのゴロとなり万事休すと思われたが、打球を処理した内野手の送球が悪送球となりさらに先の塁へ進む打者走者を刺そうとした送球も悪送球となり、ボールは左中間を転々とする。この間に打者走者が一気に生還し土壇場で天理が同点に追いつく。なお内野安打と二塁打で一打逆転の好機を作るが、八王子拓真主戦植野が踏ん張り同点のまま試合は延長戦へ。10回裏八王子拓真は安打と野選で無死一二塁とサヨナラの好機を作るも今度は天理がバッテリーを中心に堅い守りを見せ犠打すら許さずこのピンチを防ぐ。11回表天理は二死から8番平野が三塁打で出塁すると9番大江の内野安打により1点を勝ち越す。その裏天理主戦岩城が八王子拓真打線を三者凡退に抑えるとマウンドに歓喜の輪が広がった。投打の軸である主将岩城を中心にいかなる場面でもあきらめることなく自分たちの力を発揮し続けた天理が連覇の数を「11」に伸ばし64回大会は幕を閉じた。一方初優勝を目前にまさかの敗退となった八王子拓真であったが、4試合で計36盗塁を記録した機動力を中心に攻守にわたる隙の無い野球は全国二位にふさわしく、その戦いで優勝した天理同様に大会を大いに盛り上げたことを最後に記しておく。

◆歴代優勝校・準優勝校・三位校◆

回数	年度	優勝校	スコア	準優勝校	三位	三位	大会出場校数	
1	29	第三商毛利分(東京)	7-0	鹿沼農商(栃木)	前橋工(群馬)	沼垂(新潟)	6	
2	30	高萩(茨城)	2-0	宇都宮工(栃木)	北園(東京)	沼垂(新潟)	8	
3	31	紅葉川(東京)	3-0	沼津工(静岡)	前橋工(群馬)	日立二(茨城)	11	
4	32	宇都宮工(栃木)	1-0	新潟市工(新潟)	木更津二(千葉)	高崎商(群馬)	10	
5	33	花巻南(岩手)	3-0	青森商(青森)	富岡高吉井分(群馬)	日川(山梨)	13	
6	34	法政第二工(神奈川)	5-1	高松(香川)	前橋商(群馬)	秋田工(秋田)	15	
7	35	矢板(栃木)	2-0	洛北(京都)	清陵(和歌山)	船橋(千葉)	16	
8	36	八王子工(東京)	1-0	桐生(群馬)	長生(千葉)	新潟市工(新潟)	17	
9	37	甲府商(山梨)	5-3	秩父農工皆野分(埼玉)	掛川東(静岡)	桐生(群馬)	20	
10	38	八王子工(東京)	1-0	富士(静岡)	黒沢尻工(岩手)	福山誠之館(広島)	21	
11	39	倉敷市工(岡山)	2-0	足利工(栃木)	田名部(青森)	福山誠之館(広島)	20	
12	40	倉敷市工(岡山)	2-1	鏡ヶ岡(新潟)	昭和第一工(東京)	木更津東(千葉)	23	
13	41	足利工(栃木)	2-1	奈良商工(奈良)	田名部(青森)	新居浜工(愛媛)	29	
14	42	黒沢尻工(岩手)	3-2	東海大実(静岡)	広島工(広島)	鏡ヶ岡(新潟)	32	
15	43	東海大実(静岡)	5-2	鏡ヶ岡(新潟)	伏見工(京都)	西仙北(秋田)	34	
16	44	東海大実(静岡)	4-1	足利工(栃木)	松山東・通(愛媛)	鏡ヶ岡(新潟)	37	
17	45	東海大実(静岡)	4-1	東大寺学園(奈良)	因島(広島)	八幡中央(福岡)	31	
18	46	湘南・通(神奈川)	1-0	二ッ井(秋田)	千葉工(千葉)	東海大実(静岡)	30	
19	47	湘南・通(神奈川)	7-0	長岡工(新潟)	二ッ井(秋田)	小野田工(山口)	30	
20	48	岡谷竜上(長野)	4-0	安達東(福島)	高松・通(香川)	杜陵(岩手)	39	
21	49	湘南・通(神奈川)	7-4	嘉徳(北九州・福岡)	下関西(西中国・山口)	足立(東京)	29	
22	50	科技工・豊田・通(愛知)	10-0	高崎工(北関東・群馬)	松江北・通(西中国・島根)	延岡第二(東九州・宮崎)	29	
23	51	松江北・通(西中国・島根)	2-1	湘南・通(神奈川)	足立(東京)	高松・通(四国・香川)	29	
24	52	長雨のため中止						28
25	53	高松・通(香川)	3-1	湘南・通(神奈川)	刈谷東(愛知)	小山(栃木)	40	
26	54	湘南・通(神奈川)	4-0	嘉徳(福岡)	高松・通(四国・香川)	宇都宮工(北関東・栃木)	28	
27	55	松江北・通(西中国・島根)	3-1	科技高・小倉・通(福岡)	湘南・通(神奈川)	高松工芸(四国・香川)	29	
28	56	熊本工(西九州・熊本)	2-1	沼田(北関東・群馬)	松江北・通(西中国・島根)	横浜平沼・通(神奈川)	28	
29	57	松江北・通(西中国・島根)	3-2	湘南・通(神奈川)	竜ヶ崎第一(茨城)	別海(北海道)	29	
30	58	科技高・川崎・通(神奈川)	6-3	国泰寺(広島)	大崎(長崎)	天理(奈良)	44	
31	59	科技高・川崎・通(神奈川)	9-1	蕨(埼玉)	那覇商(沖縄)	延岡第二(東九州・宮崎)	29	
32	60	科技高・川崎・通(神奈川)	1-0	科技高・日進・通(愛知)	東(東京1)	竜ヶ崎第一(茨城)	29	
33	61	天理(奈良)	4-1	県陽(埼玉)	松坂工(三岐・三重)	鳴門(四国・徳島)	29	
34	62	科技高・川崎・通(神奈川)	3-2	高知工(四国・高知)	天理(奈良)	九州商・浜松・通(静岡)	29	
35	63	科技高・川崎・通(神奈川)	1-0	天理(奈良)	高松・通(香川)	松坂工(三重)	45	
36	元	筑紫丘(福岡)	7-1	那覇商(沖縄)	工芸(東京2)	科技高・川崎・通(神奈川)	29	
37	2	筑紫丘(福岡)	3-1	秋田中央(西奥羽・秋田)	科技高・四日市・通(三岐・三重)	天理(奈良)	29	
38	3	天理(奈良)	3-2	松江北・通(西中国・島根)	高知工(四国・高知)	湘南・通(神奈川)	30	
39	4	東海工・通(愛知)	1-0	羽田工(東京1)	天理(奈良)	那覇商(沖縄)	30	
40	5	足立(東京2)	16-4	四日市工(三重)	福岡(福岡)	綾羽(滋賀)	46	
41	6	松江北・通(西中国・島根)	5-2	湘南・通(神奈川)	天理(奈良)	新宿(東京2)	30	
42	7	那覇商(沖縄)	13-4	静岡商(静岡)	天理(近畿・奈良)	福岡(福岡)	30	
43	8	湘南・通(神奈川)	5-4	天理(京滋奈・奈良)	松江北・通(西中国・島根)	科技高(東京1)	30	
44	9	科技高(東京1)	4-0	中央大(東京2)	天理(京滋奈・奈良)	朝霞(埼玉)	31	
45	10	湘南・通(神奈川)	8-2	綾羽(滋賀)	国士館(東京2)	東海工・通(愛知)	47	
46	11	徳風・通(東海・三重)	2-1	湘南・通(神奈川1)	天理(近畿・奈良)	高知工(四国・高知)	30	
47	12	静岡中央(静岡)	2-0	鴨沂(京都)	湘南・通(神奈川)	大宮中央・通(埼玉)	30	
48	13	徳風・通(東海・三重)	4-3	静岡中央(静岡1)	科技高(東京1)	湘南・通(神奈川)	30	
49	14	湘南・通(神奈川)	4-3	那覇商(沖縄)	淀川工(大阪)	徳風・通(東海1・三重)	30	
50	15	湘南・通(神奈川1)	8-0	新宿山吹(東京2)	那覇商(沖縄)	徳風・通(三重)	47	
51	16	湘南・通(神奈川1)	3-2	朱雀(京都)	天理(近畿・奈良)	荻窪(東京1)	26	
52	17	天理(近畿・奈良)	2-1	湘南・通(神奈川1)	徳風・通(東海・三重)	尼崎工(兵庫)	26	
53	18	徳風・通(東海・三重)	11-3	那覇商(沖縄)	錦城(兵庫)	朱雀(京都)	26	
54	19	天理(近畿・奈良)	11-4	徳風・通(東海1・三重)	湘南・通(神奈川)	朱雀(京都)	26	
55	20	天理(奈良)	1-0	徳風・通(三重)	岡山線山・通(岡山)	杜陵(岩手)	44	
56	21	天理(近畿・奈良)	7-1	尼崎工(兵庫)	静岡中央(山静・静岡)	佐世保工(西九州・長崎)	25	
57	22	天理(近畿・奈良)	9-3	飛鳥(東京1)	北海道有朋(北海道)	鳥城(東中国・岡山)	25	
58	23	天理(近畿・奈良)	9-1	鳥城(東中国・岡山)	朱雀(京都)	静岡中央(山静・静岡)	25	
59	24	天理(近畿・奈良)	9-0	静岡中央(山静・静岡)	八王子拓真(東京1)	西宮香風(兵庫)	25	
60	25	天理(奈良)	8-1	大宮中央・通(埼玉)	朱雀(京都)	市川工(千葉)	45	
61	26	天理(近畿・奈良)	2-0	愛知工(東海・愛知)	市川工(千葉)	師友塾・通(西中国・広島)	25	
62	27	天理(近畿・奈良)	7-0	師友塾・通(西中国・広島)	八王子拓真(東京1)	朱雀(京都)	25	
63	28	天理(近畿・奈良)	9-4	岡山操山・通(東中国・岡山)	市川工(千葉)	楠(兵庫)	25	
64	29	天理(近畿・奈良)	6-5	八王子拓真(東京1)	市川工(千葉)	桃谷(大阪)	25	